

2026年度 岡山大学法学部法学科

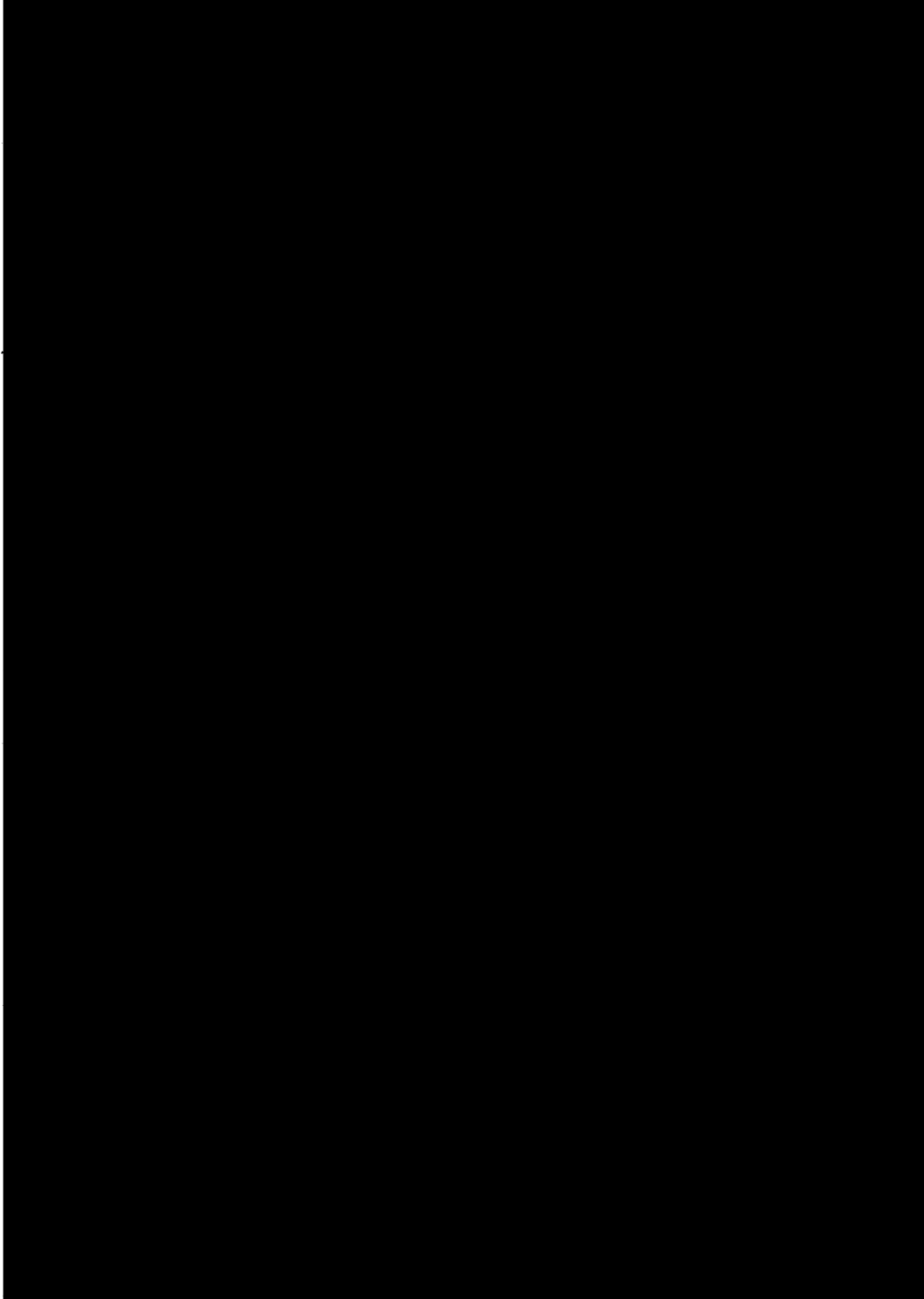
入学試験問題（社会人選抜）

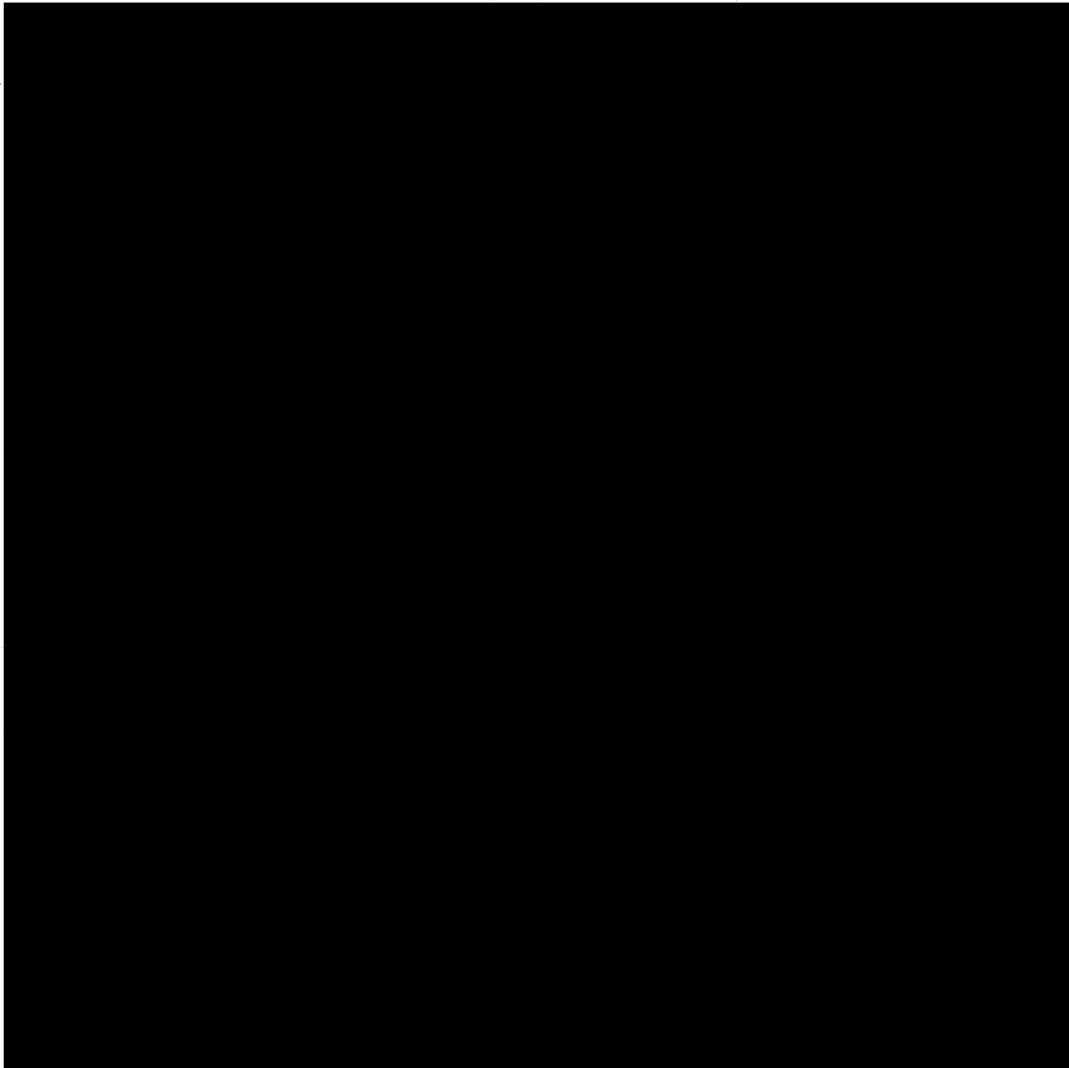
小 論 文

注 意 事 項

- 1 試験監督者の指示があるまで問題を見てはいけません。
- 2 問題用紙は、表紙を含めて6枚、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚です。
- 3 試験開始の合図があったら、問題用紙、解答用紙、下書用紙の枚数を確認し、足りない場合は手を挙げてください。
- 4 すべての解答用紙に受験番号を記入してから解答を始めてください。
なお、氏名は記入しないでください。
- 5 解答用紙は問題1と問題2に分かれているので、用紙を間違えないようにしてください。

問題1 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(100点)



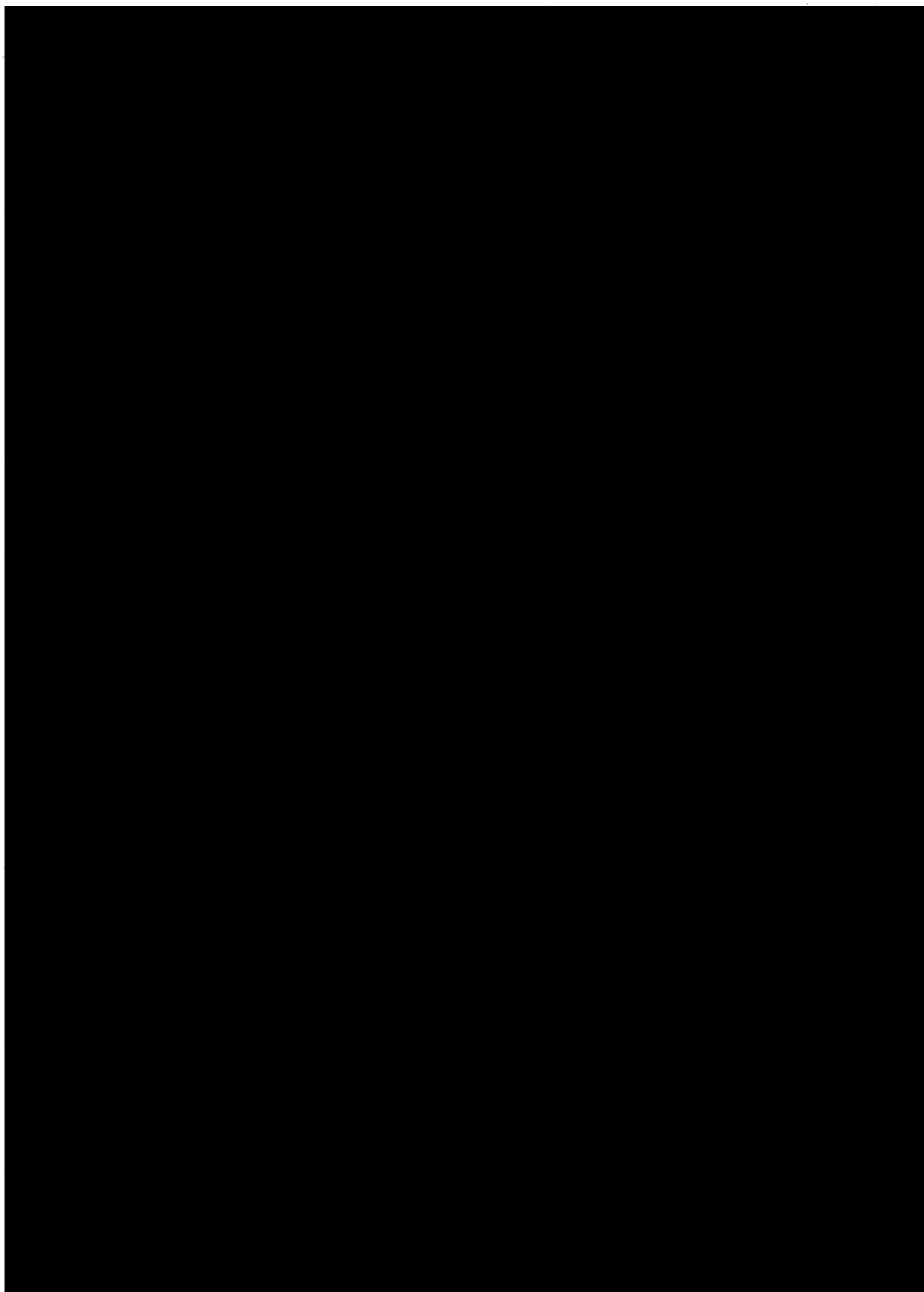


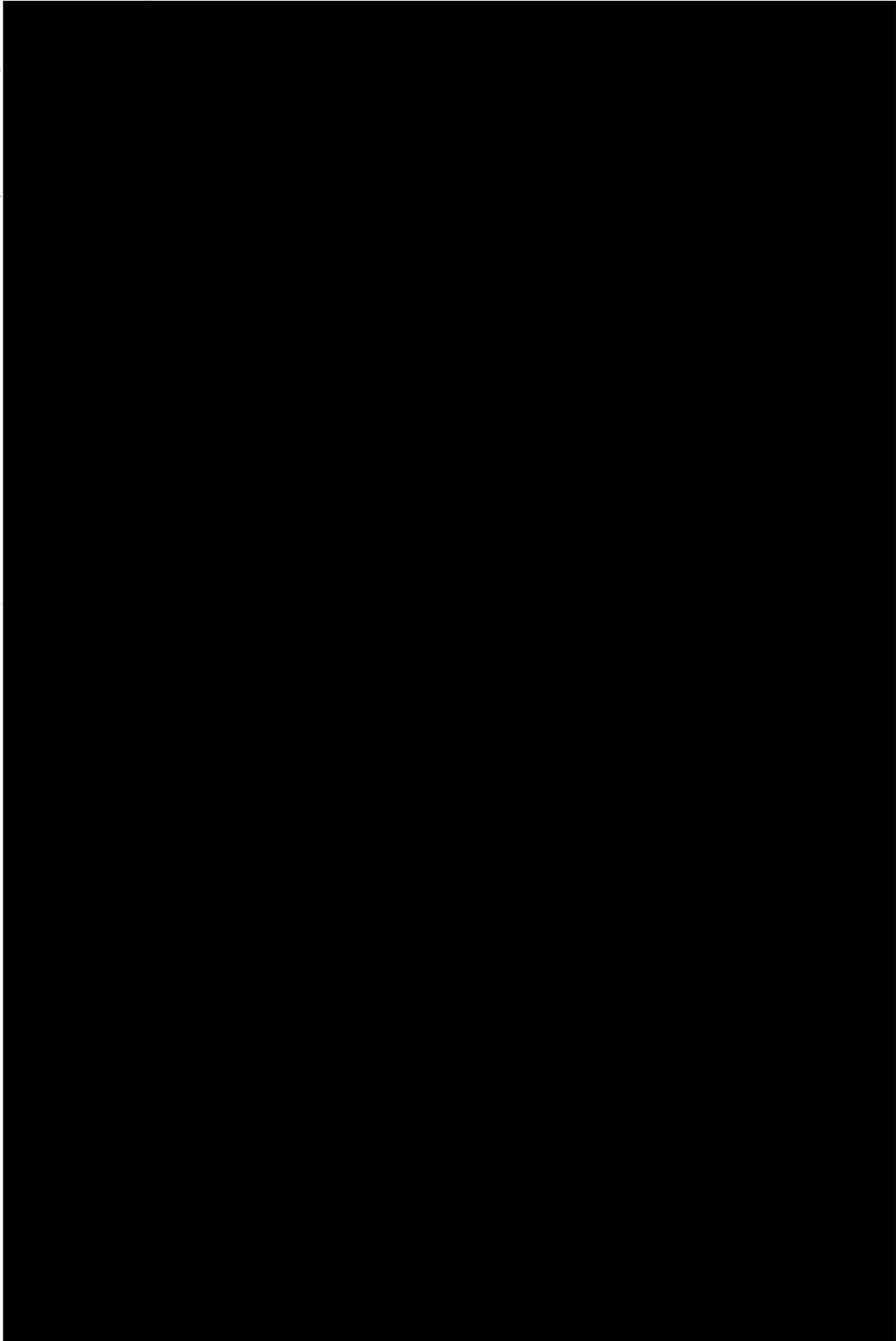
綿村英一郎「AI 裁判官の可能性と課題——“感情”を持たない裁判官は世論を引き受けられるのか」(法学セミナー845号(日本評論社、2025年)より抜粋)

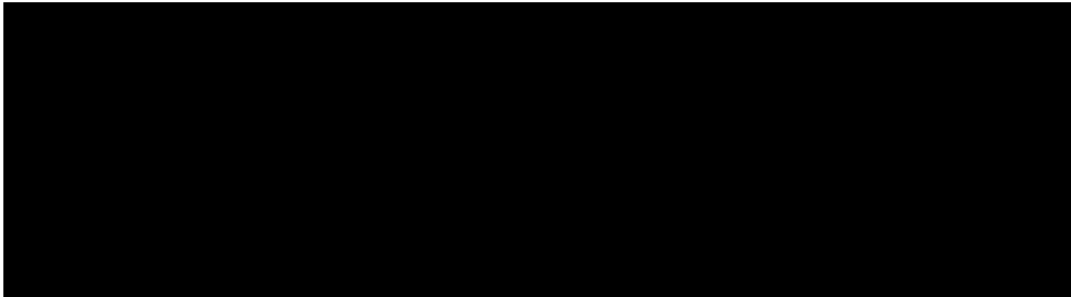
問1 AI 裁判官の特徴について、本文に即して 300 字以内で述べなさい。(50 点)

問2 私たち人間社会は、AI 裁判官を受け入れることができるでしょうか。本文を参考にして 300 字以内で述べなさい。(50 点)

問題2 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(100 点)







(イワン・クラステフ/スティーヴン・ホームズ著、立石洋子訳『模倣の罠』(中央公論新社、2021年)より抜粋、一部改変)

問1 下線部(1)にあるアメリカがかつて誇っていた「模範としての影響力」とはどのようなものだったのか具体的に説明した上で、その影響力の多くが失われてしまった主たる理由について、300字以内で述べなさい。(50点)

問2 下線部(2)にある「開かれた社会」がなぜ脅威であると考えられ、また、そうした理解のもと、トランプ政権下のアメリカにおける外国人政策がどのようなやり方で実施されるようになったのか、300字以内で説明しなさい。(50点)